

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化協力事業費

### 1. 催し等事業費

(1) 文化協力（主催）

(2) 文化協力（助成）

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (1) 文化協力(主催)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー・ワークショップ等を実施する。

合計額 41,645,776 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	絵画修復指導	ANTONESCU Rodica BAATAR Nyamkhuu BUTEMJ Myagmarusuren CHOGSOMJAV Erdenebileg COSTACHE Eugen Madalin LUGIC Sanjin MAGSAR Chinbat PAUNCEV Simona Sanda SEHIC Dzenan	ブカレスト市立美術館 紙作品保存部門長 モンゴル国立文化芸術大学 モンゴル画講師 モンゴル文化遺産センター 布地保存士 モンゴル国立文化芸術大学 講師 ルーマニア・アカデミー図書館 修復・保存専門官 サラエボ芸術学院 モンゴル国立文化芸術大学 モンゴル画講師 ルーマニア国立美術館 修復・保存士 トランスバール・ウェーブ 代表	モンゴル ボスニア・ヘルツェゴビナ ルーマニア	国宝修理装こう師連盟	2011.12.04 ~ 2011.12.16	国際交流基金が平成17年度から21年度にかけて保存修復専門家を海外に派遣した事業のフォローアップ。現地機関関係者を中心に指導的立場にある専門家を招へいし、日本国内の専門機関における研修、関係施設等の訪問・視察を通じ、専門技術の深化、相手国における専門知識・技術の活用・応用の促進を図る
2	【招へい】柔道指導者	BERNARD Joel CREED Lloyd Anthony LITTREAN Marc Anthony	クイーンズパーク柔道クラブ 監督 トリニダード・トバゴスポーツ省 企画官 クイーンズパーク柔道クラブ 代表	トリニダード・トバゴ共和国	講道館	2012.02.15 ~ 2012.03.17	トリニダード・トバゴの柔道普及活動を行う柔道専門家2名及び青少年問題省職員(スポーツ省行政官)1名を日本に招へいし、柔道普及技術、青少年問題対策についての研修を実施。警察署柔道教室や筑波大学附属高校の柔道の授業視察、講道館国際セミナー参加を実施

## 文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
3	漆工芸作品修復指導	山下 好彦	漆芸修復家	ウルグアイ ブラジル	在ウルグアイ大使館	2011.08.21 ~ 2011.08.30	フロレスタル博物館(ブラジル・サンパウロ市)所蔵の漆工芸品の修復作業・指導のための予備調査を行うとともに、南米における文化協力事業調査を実施
4	国立美術館所蔵日本関係美術品調査	江村 知子 小松 大秀	東京文化財研究所主任研究員 秋田市立千秋美術館館長	アゼルバイジャン	アゼルバイジャン国立美術館 在アゼルバイジャン大使館	2011.11.27 ~ 2011.12.06	東洋の美術品を約440点所蔵しているアゼルバイジャン最大の美術館へ日本近代工芸品の専門家及び日本絵画の専門家を派遣し、日本美術・工芸品の選別や調書作成を行うことで、日本の美術品とその他アジア諸国の美術品との区別がつかない状況にある同美術館の収蔵・展示活動に貢献
5	染織文化財の保存修復ワークショップ	横山 翠 藤巻 美恵	女子美術大学非常勤講師 女子美術大学非常勤講師	アルメニア	アルメニア歴史博物館	2011.10.23 ~ 2012.04.14	アルメニア歴史博物館の要請を受け、民族資料(第1回・10月ワークショップ)や考古遺物(第2回・4月ワークショップ)などの染織文化財の保存修復ワークショップ(講義及び実技講習)の実施とテキストの作成
6	文化遺産保存修復技術実習講習	井上 洋一 古庄 浩明 犬竹 和 杉本 和樹 青木 繁夫 井上 主税	東京国立博物館学芸企画部企画課長 駒澤大学 文学部歴史学科 非常勤講師 大正大学 歴史文化学科 非常勤講師 独立行政法人 奈良文化財研究所 契約カメラマン サイバー大学 教授 奈良県立橿原考古学研究所 調査部主任技師	ウズベキスタン	ウズベキスタン国立歴史博物館 平山郁夫国際文化のキャラバンサライ	2011.09.02 ~ 2011.10.03	文化遺産の保存修復分野の若手専門家育成のためのプロジェクト。日本の専門家6名を首都タシケントへ派遣し、学生対象の「ベーシックコース」と、若手学芸員・考古学者対象の「プロフェッショナルコース」の2コースを実施。保存修復技術の習得に必要な講義や実技を通して、即戦力となる人材を育成

## 文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
7	柔道指導	奥嶋 曜 下山 陽邦 高橋 寿正	山口県警察 警備部機動隊 講道館 国際部職員 秋田県警察 警備部機動隊	キルギス	キルギス柔道連盟 在キルギス大使館	2012. 02. 01 ~ 2012. 02. 12	柔道愛好家の多いキルギスに柔道専門家を派遣し、マスタークラスを開講
8	樺太時代の文化遺産調査報告書 ロシア語版作成	伊藤 雅彦 角 幸博 渡辺 一幸 八木 真爾 飯田 信男 林 文浩 疋 良一	株式会社 伊藤 北海道大学大学院工学研究科 特任教授・名誉教授 北電総合設計株式会社 株式会社 佐藤総合計画 飯田ウッドワークシステム 株式会社 梵陶石 ファインテクノ	ロシア	サハリン州文化局	2011. 04. 18 ~ 2011. 06. 10	平成21年から実施されている本事業は3年目に当たる平成23年、7名の建築専門家を現地に派遣、ユジノサハリンスクに現存する史跡・文化遺産についてそれぞれの専門的見地から実施調査を行い、その調査結果をまとめた報告書を作成
9	日本写真展協力	ファード・シャーキル ムフィード・アル・ジャザーイリー	イラク写真協会 会員/写真家 イラク文化支援協会 会員/写真家	イラク	イラク文化支援協会 在イラク大使館	2012. 02. 01 ~ 2012. 03. 30	平成22年度文化人招へいプログラムにて来日したイラク人写真家ファード・シャーキルが訪日中に撮影した写真作品群90点による写真展。22年度は首都バクダッドで開催したが、23年度は同写真展セットを地方都市(バスラ・サマーワ・エルビル)に巡回し、実施
10	柔道指導者派遣	吉鷹 幸春	桐蔭横浜大学 准教授	カタール	カタール・テコンドー・柔道協会 在カタール大使館	2011. 11. 21 ~ 2011. 12. 03	日本から柔道専門家を派遣し、アラブ柔道選手権を控えたカタール柔道ナショナルチームのコーチ及び選手に対する指導を実施。一般向けの実演も行い、同国における柔道の普及と活性化を図る
11	カマン・カレホユック考古学博物館フィールドコース	永金 宏文	株式会社ディグ 社長/展示ディレクター	トルコ	カマン・カレホユック考古学博物館 中近東文化センター・アナトリア考古学研究所	2011. 06. 25 ~ 2011. 08. 20	日本のODAで建設されたカマン・カレホユック考古学博物館において、地方の若手学芸員を対象にフィールドコースを実施。昨年度同様、展示の専門家、永金宏文を派遣

## 文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
12	柔道指導	鴨治 由貴	千葉県警察	ギニア	ギニア柔道連盟	2012. 01. 31 ~ 2012. 03. 02	ギニアに柔道専門家を派遣し、現地柔道家を指導。主に同国ナショナルチームの技術の底上げを図るとともに、若年層に向けて、柔道を通して日本の精神文化を紹介
13	柔道指導	佐藤 康宏	帝京大学 医療技術学部非常勤講師	ブルキナファソ	ブルキナファソ柔道連盟	2012. 01. 31 ~ 2012. 03. 05	ブルキナファソに柔道専門家を派遣し、青少年柔道家の育成にあたっている現地柔道指導者等を対象に巡回指導を実施。柔道を通じた人間・社会開発支援を行うとともに洪水により被災した柔道家を支援
14	空手指導	樹村 茂樹	大阪府空手道連盟 常任理事	ボツワナ	ボツワナ空手連盟	2012. 01. 31 ~ 2012. 02. 24	ボツワナに空手指導者を派遣し、現地の愛好家、練習生を指導。スポーツとしての競技人口増大を図るとともに、日本の精神文化としての武道を紹介

## 文化協力事業費

## 1. 催し等事業費 / (2) 文化協力(助成)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施するため国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 13,181,215 円

	事業名	助成対象者 (機関・個人)	対象国	期間	事業内容
1	初心者のための柔道教則本	NPO法人柔道教育ソリダリティー	中国	2011.06.01 ~ 2012.03.31	外務省「草の根文化無償協力」によって中国南京市及び青島市に開設した日中友好柔道館で使用する初心者用の柔道教則本(中国語版)を作成。編集に当たり青少年の練習に役立つのみならず、指導者の指導方法の参考となる内容となるように工夫。また相手を敬うことを大切にする柔道の心を伝えることに留意して、文化交流の推進に寄与
2	オカリナ製作普及・指導者育成(派遣)	樹 紫苑 オフィス樹エージェンシー (いつき・しおん) 代表/音楽家/翻訳家	カンボジア	2011.07.19 ~ 2011.08.02	日本の益子焼の技術を使い、コンポンチュナンでカンボジアの伝統的製陶技術「クメール焼」を復活させ、人々の自立を支援するべく2009年から実施している技術支援の発展事業。外貨獲得のための商品としてオカリナ製作を技術指導。併せて基本的な演奏技術の指導、小学校や孤児院でのプロ演奏などを通じ、オカリナ音楽の楽しさを現地に伝える事業を実施
3	サムチュック市場建築・文化保存再生	村上 心 梶山女学園大学 教授	タイ	2011.07.29 ~ 2011.09.12	タイのサムチュックへ専門家3名と調査協力団員11名を派遣。タイの大学機関(SRIPATUM大学建築学部)と相互協力事業のための会議を実施するほか、事業対象地において現地の代表者や居住者とユネスコ登録へ向けた保存再生研修を実施。近隣類似地域(アユタヤ県ポラン・ラートチャドー)の視察調査も実施
4	バレン制作と水性木版画の制作指導	船坂 芳助 社団法人日本美術家連盟 理事	タイ	2011.10.01 ~ 2011.10.10	タイの大学美術関係の先生を対象に、木版画の摺り道具「バレン」の制作及び水性絵具での摺り、ドーサ(にじみ止めを行うこと)等、水性木版画に関する指導を実施
5	陶芸技術の指導	丸山 武 陶芸家	フィリピン	2011.08.01 ~ 2012.03.20	テラコッタ(素焼き)技術が主流の現地で、大学生・アーティストを対象に、釉薬を用いた高火度焼成の技術を伝達する事業をドゥマゲッティ市のファウンデーション大学(Foundation University)にて実施

## 文化協力事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
6	【派遣・招へい】ホイアン町並み保存プロジェクト2	友田 博通 昭和女子大学 国際文化研究所 教授	ベトナム	2011.04.26 ~ 2011.12.03	ホイアン遺跡は、「世界遺産」に登録されたことで観光地として急速に発展を遂げたが、遺跡保存の観点からは危機的状況にあるとユネスコから警告を受けている。ホイアン遺跡管理事務所の保存計画の見直しと能力強化のための支援を実施。更にホイアン町並み保存に関わる最高責任者等を日本に招へいし、文化財行政全般に渡る意見交換会も実施し、最終年度のまとめとするもの
7	インド・オリッサ NANTYA GRAM劇場村 NATYA CHETANAの Festivalにおける照明デザインの講義と実践	三浦 あさ子 舞台照明家	インド	2011.11.06 ~ 2011.11.18	インド・オリッサ州のニャンタグラムで開催される演劇フェスティバルの開催準備にあたり、照明デザインについての講義を現地の専門家とともに実施
8	【派遣】オーケストラ演奏技術向上及び楽器維持管理技術の習得のための育成ワークショップ	小林 恵子 洗足学園音楽大学 講師/指揮者	スリランカ	2011.10.08 ~ 2011.11.01	国内唯一のアマチュアオーケストラ・スリランカ交響楽団が、当国の西洋音楽の発展への道標となるよう、指揮者の小林恵子が指導及び指揮。更に、国内各音楽団体での演奏技術及び音楽基礎能力を向上させるワークショップを実施。また、当国には楽器のリペアマンがいないため、派遣したリペアマンが国内の各音楽団体に同行し、メンテナンス方法を伝授
9	【招へい】日本先住民民族アイヌ伝統芸能・日本古典芸能歌舞伎継承研修プロジェクト	岡本 有子 ネパールソングートに親しむ会 日本本部会長	ネパール	2011.05.16 ~ 2011.06.06	多民族国家ネパールには、102もの民族の希少な伝統文化があり、無形文化財にもなっている。しかし、近年において急速に消滅しつつあるにも関わらず、政治的・経済的背景に伴い保全活動が滞っている。そこで、保全と後継者育成のため、各芸能の精通者を招へいし、先住民民族アイヌ伝統芸能や歌舞伎等古典芸能の日本における継承活動の現状や歴史から、保全のための技術や体制、アイデア等を学ぶ研修プロジェクトを実施
10	ミクロネシア連邦ナン・マドール遺跡の保護に資する人材育成ワークショップ	石村 智 奈良国立文化財研究所 研究員	ミクロネシア	2011.08.21 ~ 2011.08.30	遺跡保護に関する講義と遺跡の状況のアクセスメントのためのフィールドワークからなるワークショップを実施。現地での遺跡保護への意識を高め、マネジメント・プラン作成を図る。講義には日本から専門家を派遣し、マネジメント・プランの重要性や遺跡保護の概要を解説。フィールドワークでは日本人専門家も現地参加者とともに遺跡アクセスメントに参加し、遺跡保存に必要な事項を全員で確認

## 文化協力事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
11	囲碁の普及活動	西島 昭 日本囲碁普及協会理事／指導員	キューバ	2011.09.14 ～ 2012.06.30	囲碁の普及を通じて日本・キューバの友好親善・相互理解の一層の進展を図るため、日本囲碁普及協会理事／指導員西島昭がキューバに長期滞在し主要都市にて囲碁講座の開催や実戦指導、現地の囲碁指導員を育成する事業を実施
12	マヤ文明世界複合遺産—グアテマラ・ティカル国立公園—の保存活用計画	中村 誠一 サイバー大学 世界遺産学部 教授	グアテマラ	2011.08.02 ～ 2012.02.29	世界複合遺産であるティカル国立公園に対し、文化無償協力の事業による「ティカル国立公園文化遺産保存研究センター建設計画」が2011年12月に完了。同センターへ収納される遺物の保存修復作業やデータベース化を指導するとともに、センター開所後の活動の企画立案指導を実施
13	日仏の紙に関する用語集編纂	川村 朋子 有限会社山領絵画修復工房 保存修復士	フランス	2011.09.17 ～ 2011.09.24	和紙の専門家を派遣し、現地の洋紙の専門家との技術交流・討論会を実施。フランス語圏に和紙の伝統文化を伝えるとともに、洋紙の歴史を知るための専門用語集を作成。技術・文化面での交流により、存続が危ぶまれるフランスの手漉き紙産業の活性化を図る
14	世界遺産教育の実施プロジェクト	日高 健一郎 筑波大学大学院人間総合科学研究科 世界文化遺産学専攻長・教授	ルーマニア	2011.08.01 ～ 2012.06.30	ルーマニアにおいて、世界遺産の理念と保護事例、保護手法に関する教育研修の実施。世界遺産学、建築史学、建築構造学、博物館学、観光学、自然保護論の専門家を派遣し、同国の大学院生、研究者、専門職員等が参加する講義と演習を実施。文化遺産保護意識の向上と人材交流を図るとともに、文化遺産保護国際コンソーシアムを中心とする日本の世界遺産保護国際貢献事業を紹介